

第43回

# そらまめ

～ケアセンター習志野通信～



介護老人保健施設

ケアセンター習志野



〒275-0025 千葉県習志野市秋津3-5-2  
TEL.047-453-5111 / FAX.047-453-5181

- 併設
- ❁ 短期入所療養介護
  - ❁ 通所リハビリテーション
  - ❁ 居宅介護支援事業所
  - ❁ 訪問リハビリテーション事業
  - ❁ 新習志野訪問看護ステーション事業所

## 新入職員を紹介します!



代表して、  
支援相談員 伊東優さん  
からの挨拶です。

支援相談員 伊東 優

ご利用者やそのご家族に寄り添えるような支援を心掛け、少しでも支えとなる事が出来る相談員を目指して頑張ります。ご指導のほどよろしくお願い致します。

桜が満開に咲き誇る4月、4名の新入職員を迎え入れる事となりました。規模を縮小、時間を短縮しての入職式、オンラインでの新入職員研修、施設研修を終えて施設職員としてのスタートを切りました。コロナ収束・出口の見えない中で大きな希望と活力を持った新たな仲間とともに、ご利用者やご家族、地域の皆様の支えとなるよう施設職員一同邁進して参ります。

## ガラス越し面会

令和4年4月24日～令和4年5月22日の期間中、通所リハビリテーションがお休みの日曜日限定でガラス越し面会を再開しました。密を避けるために事前予約制とさせて頂き、場所は1階の風除室(玄関の自動ドア付近)での面会となりました。時間は10分と制限がございましたが、ガラス越し面会を実際にご利用頂いた方より「コロナ禍で面会を諦めていたが、このような機会を設けて頂きありがとうございます」「元気そうな姿が見られてよかった」「スピーカーが付いていたので聞く声も聞こえてとてもよかった」等のお言葉を頂きました。これからも、その時々での感染対策状況に合わせて面会の方法を検討してまいります。



5月レク

兜&amp;母の日



5月行事レクにて、こどもの日と母の日にちなんで、男性ご利用者にはダンボールで作った兜とおもちゃの刀と一緒に、女性ご利用者には造花のカーネーションを持って頂き、日頃の感謝の気持ちとこれからも元気で過ごして下さいとメッセージを伝え、それぞれ写真を撮りました。

童心にかえった男性ご利用者は刀を持ってポーズを決められていました。また、それを見た女性ご利用者は昔を思い出し笑顔で語られている方もいらっしゃいました。



「御座敷いて  
暮れ待つ土手や  
村花火」

## 短歌・俳句



この俳句は川村様が初めての花火大会を少しでも良く見える所へと土手に向い、既に沢山の人が集まっている中で御座敷いて陣を取り、日が沈んで大きな花火が打ち上がるのをワクワクしながら待つ人々の記憶からひらめいて詠まれたそうです。川村様はいつも美しい日本語、季語を用いる事を意識されながら十七文字という短い詩に思いを込めて作られています。確かに土手に御座敷いて花火大会を心待ちにする人々の笑顔が浮かんできますね。

